

航空貨物輸送網強化事業委託業務

企画提案書作成要領

1 様式等

- (1) 企画提案書の様式は任意とします。(別紙様式を参考に作成してください。)
- (2) 用紙の規格は、A4判縦長とします。(A3判用紙の折込は不可。)
- (3) 文章を補完するために、写真、イラスト等を使用しても構いません。
- (4) 様式に書ききれない場合は、適宜枚数を増やしても構いません。

2 企画提案書作成上の留意事項

企画提案書に記載する項目は、企画提案指示書の「3 業務の内容」及び「6 業務上の留意事項」に関する次の事項です。

- (1) 会社等概要
 - ・様式に沿って各項目を記入してください。
- (2) 総括責任者及び業務担当者
 - ・総括責任者及び業務担当者は、当該業務を実際に担当する方について知るためのものです。提出後に当該業務を担当できなくなった場合には、プロポーザル選定を取り消すことがありますので、確実に担当できる方の氏名、役職、経験年数、主な実績を記入してください。
- (3) 業務実施体制
 - ・当該業務を実施するに当たっての体制について記入してください。また、連携する外部機関がある場合は、当該機関との関係についても記入してください。
- (4) 過去に実施した本事業と類似する業務実績
 - ・過去に国・地方公共団体又は民間事業者との間で契約・履行した類似・関連業務の実績を記入してください。
- (5) 航空貨物輸送網強化事業の実施
航空貨物輸送網強化事業の実施にあたり、以下の点を考慮して記入してください。

ア 時期

7月上旬～12月

イ 場所

道内空港

ウ 航空貨物輸送網強化事業の概要

航空貨物輸送網の強化による航空ネットワークの維持・拡充や、物流の「2024年問題」、道内を取り巻く物流課題を踏まえた新たな輸送のあり方について検討するため、小型機を活用した航空貨物輸送の実証事業を行う。

エ 業務

(ア) 事業実施に係る要件の検討・選定等

a 輸送商品の検討・選定

本事業において航空貨物輸送を行う商品について選定を行う。輸送商品については、道内で生産される農畜水産品や加工品等とし、付加価値の高い商品や他の輸送手段と比較し航空貨物輸送の優位性が確立されていない商品について検討し、選定を行う。

b 積載空港、輸送機材、仕向地、輸送方法の検討

上記 a で選定された商品について、積載空港や輸送機材、ルート、仕向地を選定し、これに適した輸送方法（梱包や保冷の方法等）について検討する。

c 航空機とトラック輸送の比較・検証

上記 a 及び b の要件で商品を輸送する場合とトラック陸送の場合について、商品の

出荷から仕向地への納品までのリードタイムやコスト、オペレーション等について比較を行い、事業効果の高い要件を選定する。

(イ) 実証輸送の実施

上記(ア)で選定された要件により、以下のとおり実証輸送を実施する。

a 道内地方空港から道外空港への輸送

以下の i か ii の一方、または双方を内容とする輸送とする。

i 道内地方空港から、丘珠空港や新千歳空港に小型機により輸送後、丘珠空港や新千歳空港から道外空港に輸送する。なお、丘珠空港から新千歳空港の間はトラック等による輸送は可。

ii 道内地方空港から、羽田空港等の道外空港に小型機により輸送する。

b 品質の検証等

仕向地に到着した輸送商品について、貨物の状況を確認し、バイヤー等により商品の品質の検証を実施する。

(ウ) 実証輸送の検証、成果報告会の開催

- ・上記(イ)の実証輸送に関して、課題の洗い出しと解決に資する方法等について検証を行う。
- ・生産者・荷主(サプライヤー)、物流事業者等の関係者を対象としたセミナーを開催する。物流の「2024年問題」や道内を取り巻く物流課題を踏まえた新たな輸送のあり方(航空貨物輸送)の利活用について訴求する。

(エ) 報告書の作成

上記(ア)から(ウ)までの実施結果を取りまとめ、報告書を作成する。

(6) 業務処理スケジュール

委託業務開始から完了までのスケジュールについて、北海道との協議時期を含め、契約から、要件の検討・選定、実証輸送の実施・検証、事業の報告書の作成など一連の流れが分かるように記入してください(委託契約の締結は6月上旬を予定しています)。

(7) 業務処理に要する見積価額

消費税及び地方消費税相当額を含む価額及び積算内訳について、記入してください。

なお、見積金額は、実施期間を令和6年(2024年)6月上旬から令和7年(2025年)1月24日と想定して、算出してください。

3 企画提案書の提出

(1) 企画提案書の提出部数及び方法

ア 提出部数 8部

それぞれ別紙様式の表紙をつけてください。企画提案者名は1部のみ記入し、残りの7部には記載しないでください。

企画提案者名を記載しない7部については、表紙の企画提案者の欄及び「1会社等概要」の「会社名(法人名)」から「従業員数」の欄までを空欄にし、総括責任者及び業務担当者名を「A」「B」等に置き換えて提出してください。

また、書類は必ず、ダブルクリップ等で留めてください。(ホチキス不可)

イ 提出期限 令和6年(2024年)5月7日(火)15:00(必着)

ウ 提出方法 提出場所に持参又は郵送(書留郵便に限る。)してください。

エ 提出場所 北海道総合政策部航空港湾局航空課(担当:佐藤)

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

電話 011-231-4111(内線23-880)

(2) その他

ア 電子メールによる提出は認めません。

イ 要求した内容以外の書類、図面等については受理しません。

ウ 選定された企画提案書は返却しません。ただし、選定されなかった企画提案書は、企画提案書の提出時に返却を希望した者に限り返却します。

エ 企画提案書の作成・提出に係る費用は、提出者の負担とします。

4 企画提案書に関するヒアリング

プロポーザル審査会においてヒアリングを実施します。(ヒアリングの日時、場所は別途通知します。) なお、ヒアリングに参加しない者の企画提案書は無効とします。

5 問い合わせ窓口

本事業の企画提案に関する問い合わせ窓口は、3(1)エと同じです。